

令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 協議会名称

都立青梅総合高等学校 学校運営連絡協議会（定時制課程）

(2) 事務局の構成

副校長、経営企画室長、事務局長（教務主任）、教務部員1名、計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活支援主任、進路指導主任、年次主任代表 計7名

(4) 協議委員の構成

青梅市内中学校長、青梅市教育委員会代表、地域商工会議所代表、地域住民代表 計4名

2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和7年6月12日（木）

- 協議委員委嘱、委員紹介
- 令和6年度学校経営報告、令和7年度学校経営計画
- 教育活動の概要と各分掌からの本年度の計画報告
- 質疑応答

第2回 令和7年11月6日（木）

- 本校の教育活動及び生徒の状況について
- 各分掌から中間報告
- 学校評価アンケートの質問項目検討
- 質疑応答

第3回 令和8年2月5日（木）

- 本校の教育活動及び生徒の状況について
- 各分掌から成果と課題
- 学校評価アンケートの集計結果報告及び考察
- 質疑応答

(2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和7年11月6日（木）

- 学校評価の基本方針の確認、
- 学校評価の実施に向けた昨年度の課題
- 学校評価アンケートの質問項目の検討
- 学校評価アンケートの回答および回収方法の検討

第2回 令和8年2月5日（木）

- 学校評価アンケートの報告
- 学校評価アンケートの集計結果分析と課題

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 評価の観点

「学校の成果」「学校の実践」「学校への理解」の観点で実施。

(2) アンケートの実施対象者、回収状況（↑↓は昨年比）

対象者	配布（人）数	回収数	回収率（％）	昨年比
生徒	143	89	62.2	↓
教職員	25	25	100.0	—
保護者	143	71	49.7	↑
地域住民	50	17	34.0	↑

(3) 回答の選択

肯定的評価 ・「思う」 ・「やや思う」 **否定的評価** ・「あまり思わない」 ・「思わない」

(4) 主な評価項目

- | | |
|---------------|--------------------|
| ①学校に対する満足度 | ②授業満足度 |
| ③学校生活への取り組み | ④一人一台端末の活用 ※R6より実施 |
| ⑤「考えさせる授業」の実践 | ⑥校則・マナーやルールの指導 |
| ⑦進路の実現に向けた指導 | ⑧相談体制 |
| ⑨施設管理 | ⑩ライフ・ワーク・バランス |
| ⑪地域から見た本校について | |

(5) 評価結果の概要・分析・考察

①学校に対する満足度

- 肯定的評価 生徒86.5% 保護者66.2% 教員96.0%
- 生徒・保護者の肯定的回答が昨年度よりやや減少した。
- 教員の肯定的回答「思う」が50%以上で昨年度より増加

②授業満足度

- 肯定的評価 生徒91.0% 保護者91.5% 教員96.0%
- 全体的に肯定的評価が高い。
- 習熟度による少人数授業の実施や教員相互による授業観察による授業力向上への取組の効果による結果ではないか。

③学校生活への取り組み

- 肯定的評価 生徒86.5% 保護者65.2% 教員96.0%
- 生徒と保護者との評価に大きな評価差があり、学校生活の取組について評価する項目（授業や行事・生徒会活動・部活動）の視点の差から生じたものと分析。
- 教員は生徒の学校生活の取組を高評価している。

④一人一台端末の活用

- 肯定的評価 生徒88.8% 保護者91.6% 教員88.0%
- Teamsやロイロノートの利用が定着しており、それぞれに8割を超える肯定的評価をしている。
- 保護者による肯定的評価が高く、学校との連絡手段にclassiによる利用が含まれていると思われる。

●昨年度に教員の肯定的評価もかなり上昇し、ICT機器の活用頻度が多くなっていることによるものと思われる。

⑤「考えさせる授業」の実践

●肯定的評価 生徒94.4% 保護者83.1% 教員96.0%

●全体的に肯定的評価が多い。校内研修が充実させ考えさせる授業を実践し、生徒の学習意欲を高めている。

●授業時にICT機器を効率的に活用し、生徒に興味関心をもたせる授業の工夫による効果も大きい。

⑥校則・マナーやルールの指導

●肯定的評価 生徒93.2% 保護者95.7% 教員96.0%

●生徒の肯定的評価が増加しており、規範意識をもった学校生活が定着している。

●保護者の肯定的評価も増加し、生徒は学校生活上のルールを守っていると学校に協力していただいている。

⑦進路の実現に向けた指導

●肯定的評価 生徒93.3% 保護者85.9% 教員96.0%

●全体的に肯定的評価の割合が多い。年間進路指導計画に沿って、また「産業社会と人間」等のキャリア教育を実践していることが評価されている。

●保護者の否定的評価が昨年度に比べ増加しているが、進路指導の取り組みが保護者に情報提供されていない原因ではないか。

⑧相談体制

●肯定的評価 生徒89.9% 保護者91.5% 教員100.0%

●全体的に肯定的評価が非常に多い。

●保護者への相談体制も充実させていることから、肯定的評価の高い数値に表れているのではないか。

●分掌、年次、養護教諭、SC、YSW、外部機関との連携を図り、組織的体制を構築している。

⑨施設管理

●肯定的評価 生徒91.0% 保護者92.9% 教員52.0%

●生徒・保護者の肯定的評価は9割を超えているが、これは昨年度とほぼ同様であった。

●教員は否定的評価の割合が5割弱と非常に高い。施設の老朽化や冷暖房未設置の教室があることから、特に夏場の職場環境および教育活動に不満・不安を抱えている。

⑩ライフ・ワーク・バランス

●肯定的評価 生徒96.7% 保護者91.6% 教員84.0%

●生徒・保護者は肯定的評価が9割を超えており、昨年度より高評価である。

●教員と生徒および保護者との相談時間を確保していることが評価されている。

●教員の否定的評価「あまり思わない」の割合が「16.0%」とやや多く、多様な生徒への対応に時間を要し、体力的・精神的に負担が増している。

①地域の方から見た本校について

【回答方法】 ・「はい」 ・「いいえ」 ・「不明・無回答」

番号	アンケート内容	肯定的評価「はい」
(1)	今年、本校の文化祭や生產品販売に来たことがありますか。	41.2%
(2)	本校定時制のホームページをご覧になったことがありますか。	17.6%
(3)	本校定時制課程の生徒の登下校時のマナーは良いですか。	52.9%
(4)	学校敷地内にある施設等に関して、不備や危険は見受けられない。	58.8%

- (1)は昨年度と比較し、「はい」の回答がやや減少したものの概ね同様の評価となった。
- (2)は昨年度と比較し、「はい」の回答が減少し、教育活動の様子があまり知られていない状況であった。
- (3)は昨年度と比較し、「はい」の回答が半数となり、地域へのマナーに問題がある。
- (4)は昨年度と比較し、「はい」の回答はやや減少した。「不明・無回答」の割合が「35%」であったが、来校する機会がなかったことの結果ではないか。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- 近隣の中学校の様子や地域の方から本校に期待することを知ることができ、今後の教育活動への励みとなり、地域と連携を深めることの大切さを改めて確認することができた。
- 協議委員の方との情報共有から本校の実情に合った取り組みが評価され、今後も多様な生徒へのニーズに対応していきたい。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- 保護者および地域の方に本校の教育活動の取り組みについて情報発信の方法を検討する。
- 社会情勢から今後入学してくるから生徒の実態を把握しそれに沿った教育活動を展開する。
- 地域の方からのアンケート回収率は、昨年度と比較し上昇したが5割以上を目標とする。

5 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 4人

(2) 「学校がよくなった」と答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わない	わからない
3	1				

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 12回 企画調整会議 32回

【成果】

- 会議・委員会における様々な情報共有をもとに、生徒指導への組織的な取り組みを行うことができた。